

# 《講座レポート》

令和4年9月実施



●お問い合わせ(9:00~21:00)

☎022-299-5666

★休館日:月曜日、祝日の翌日、年末年始

## 榴ヶ岡寺子屋「福祉編」

「人に学びを、まちに実りを」

## 榴ヶ岡市民センター

指定管理者(仙台市教育委員会指定)

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

### 講座の目的

榴ヶ岡寺子屋は、榴ヶ岡市民センターの主催事業として、魅力ある榴岡のまちづくりのため、福祉、歴史、防災を3本柱として地域交流活動に取り組んでいる事業です。今回の福祉編は、榴岡小学校社会学級との共催で行いました。

### 講座の状況



岩崎・榴岡小学校社会学級委員長が開会のあいさつ

日時：令和4年9月13日(土) 10:00~11:40  
場所：榴ヶ岡市民センター  
主催：榴ヶ岡市民センター、榴岡小学校社会学級  
企画：榴岡地区エキサイティング事業実行委員会  
講師：池内由紀子氏(榴岡地域包括支援センター所長)  
加藤美緒氏(同 主任介護支援専門員)  
高木香氏(認知症と家族の会宮城県支部副代表)  
テーマ：「認知症と介護」  
参加者：40名



榴岡地域包括支援センターの皆さんが、認知症の予防や対応、介護保険についてのお話



家族の会・高木さんが、両親の介護の実態について、具体的にお話



司会の高橋さんが、参考図書を紹介

### 参加者の声

- ・初期の認知症の母と同居、接し方の工夫が分かった。
- ・相談できる場があることが分かり良かった。
- ・包括のシステムは、地域にとって大事なシステムです。
- ・介護サービスを利用する具体的な説明、ありがたかったです。
- ・何回同じ話を聞いても「一話完結」と思うこと、「水に流す」
- ・専門家のフリして接する(パンツ取替事業部)。
- ・86才の義父、怒ったりせず考えを変えて接します。
- ・認知症の人の介護は、否定するのではなく、話を合わせ受け入れることが大切。今から勉強します。



及川委員長が、閉会のあいさつ